平成26年度　第一回　事業評価監視委員会

資　料　－1

港湾事業　再評価

八戸港
八太郎･外港地区防波堤整備事業

平成26年7月25日
国土交通省　東北地方整備局

事業名	八戸港　八太郎・外港地区 防波堤整備事業	事業種別	防波堤

事業の目的

八戸港八太郎・外港地区に防波堤を整備することにより、港湾利用企業の物流効率化を図るとともに、避難水域を確保し、沖合航行船舶の海難事故の減少を図る。

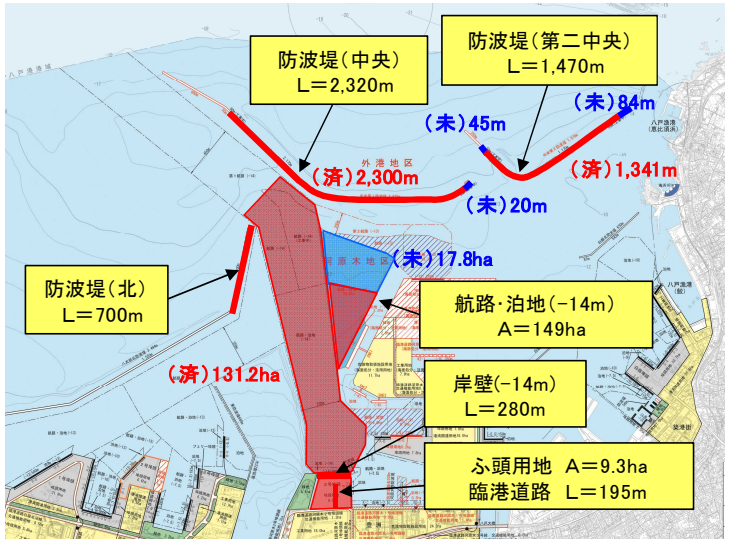
事業の概要

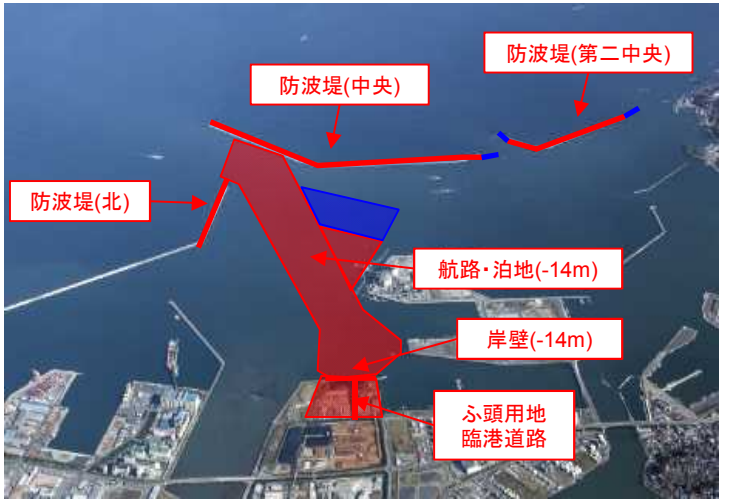
港名	八戸港	港格	重要港湾
対象施設	防波堤（北）　700m 防波堤（中央）　2,320m 防波堤（第二中央）　1,470m 岸壁（−14m）280m、航路・泊地（−14m）149ha、 臨港道路 195m、ふ頭用地　9．3ha		
事業化	昭和51年度		

今回評価（H26）			前回評価（H23）	
全体事業費	執行済み額	進捗率	全体事業費	進捗率
1,164億円	1,079億円	93%	1,164億円	90%

【事業実施位置図】

再評価





※　整備完了：赤
　　整備未了：青

1. 事業の必要性に関する視点

◆八戸港では臨海部に立地する企業によるニッケル鉱石、石炭等バルク貨物とコンテナ貨物の安定荷役のため、静穏度の確保が急務となっている。
◆防波堤整備により静穏水域を確保することで、荒天時における安全な避泊を行うことが可能となり、沖合を航行する船舶の海難事故減少等、安全性の向上に寄与する。

防波堤に打ち寄せる波浪



ニッケル鉱石荷役



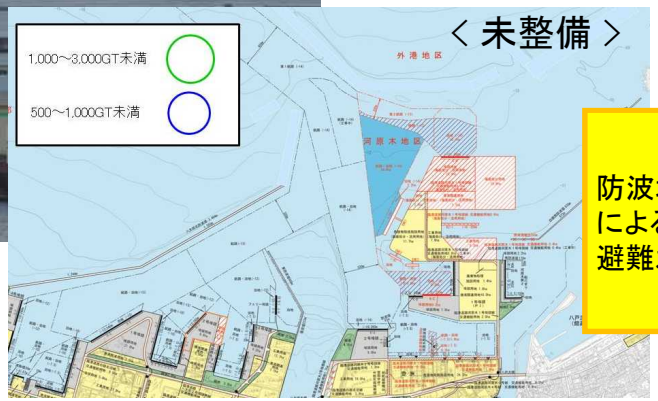
コンテナ貨物荷役



＜ 八戸港港内の避難状況 ＞

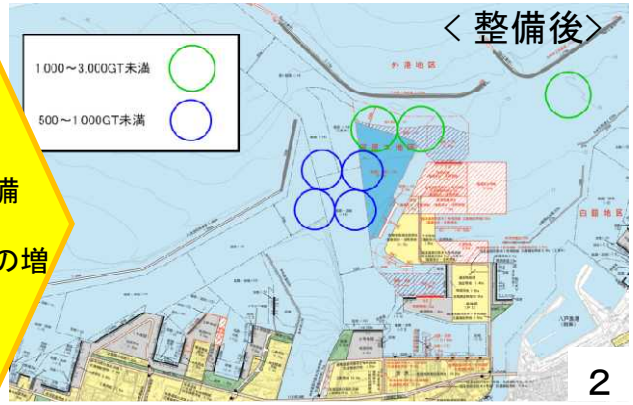


＜ 未整備 ＞



防波堤整備
による
避難水域の増

＜ 整備後＞



2. 前回評価との主な相違点

①事業費の変更 → 総額変更無し

単位：億円

施設名等	前回評価（H23）	今回評価（H26）	備考
防波堤（北）	87	87	
防波堤(中央)	466	466	
防波堤(第二中央)	390	394	東日本大震災による建設中施設の被災復旧費用
岸壁(水深14m)	38	38	
航路・泊地(水深14m)	160	155	浚渫土砂の土捨場変更
臨港道路、ふ頭用地	23	23	
合　計	1,164	1,164	

※端数処理のため、内訳の合計は一致しない。

②便益の変更 → 無し

項　　目		前回評価（H23）	今回評価（H26）	備　考
輸送便益	ニッケル鉱石、石炭	300万トン	300万トン	背後企業へのヒアリングにより、貨物需要の変更無し
	コンテナ貨物	15,400TEU	15,400TEU	〃
避泊便益	海難における損失回避	7隻	7隻	避泊可能水域の設定に変更無し

③前回評価における費用対効果分析

事業全体	2.1
残事業	4.0